

御礼の言葉



福島県河東町長

栗城春夫

河東町は私の町長就任と同時に、小・中学校にコンピューターリテラシーと英会話、郷土理解について学習の機会を設けてきました。

県内でも先駆的なこの事業も、国のIT政策の推進により、ようやく軌道に乗ってきたところでもあります。

これが3年目に入り、こうした事業を支えてくださった、会津大学の村川久子教授や第3セクター会津リエゾンオフィスのご協力のもと、郷土理解に関して英文と日本文対訳の教材の作成を考えておりましたところ、とき同じくして、本町の西屋敷集落にありまして区の事業として 白川勇雄 編集委員長を中心とする集落編集委員会が誕生し、集落の歴史とルーツを見つめ直すこととなり、あわせて各種事業の展開となりました。

そこに、福島県会津地方振興局が担当する「地域づくりサポート事業」が相重なり、子供たちへ早い機会に郷土理解教材が届けられることとなり、心から感謝申し上げるところとなりました。

これからは、この教材を活用し、町の子供たちが国際理解に秀でた社会人として立派に育って行くことを期待し、今回ご尽力 戴いた関係者各位に感謝申し上げ御礼の言葉いたします。

平成13年2月吉日